

職業訓練の現場体験 福島労働局 報道関係者向けツアー

「ぺんぎんナツツ」の2人参加

受講生と対談も

福島労働局は十三日、福島市のポリテクセンター福島でハロートレーニング（公共職業訓練）の報道関係者向けツアを開いた。新型コロナウイルスの影響で県内の解雇・雇止めが増加している現状などを受け、県民に職業訓練の内容を広く知つてもらおうと企画した。高齢・障害・求職者雇用支援機構福島支部の共催。

福島県住みます芸人 中村陽介さんが訓練を「ぺんぎんナツツ」の体験した。生産情報シス

テム科の担当者からを聞き、音声認識や顔



担当者から溶接技術の説明を聞く中村さん(左)と、いなのさん(中央)

認識のシステムを体験した。テクニカルメタルワーク科では金属の溶接技術の訓練を見学。AR（拡張現実）を利用した溶接シミュレーションも実施した。

体験終了後、ぺんぎんナツツの二人がポリテクセンター福島の受講生と対談した。再就職を目指す理由や学習している内容、受講して感じた魅力などについて意見を交わした。二人は「再就職となると不安も多いが、技術と自信を持って次のステップに進める環境が整っている」と話した。